

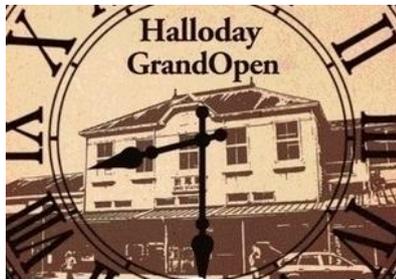
折尾駅をモチーフにした「ハローデイ・共立大前店」(スーパー)

投稿

「JR九州折尾駅」を継ぐ

O.Z.

過日、新規開店早々の「ハローデイ共立前店」行き、踊り場の一角の壁面に、素晴らしい「JR九州折尾駅」の沿革と絵図の展示の一覧に感心しました。将来、人と場所を継ぐ「JR九州折尾駅」を目の当たりにして、ひとしお胸にまぶしく映りました。



九州共立大学の前に、「ハローデイ」が開店しました。

チラシの表紙1/2(A3の大きさ)に、時計の中に折尾駅舎のイラストとコンセプトが書いてあり、目をひきました。

『**歴史あるこの地に、ちょっと上質、ちょっと贅沢で心地よい**ショッピングできるお店ができました。変わらない美味しさと笑顔で皆様をお待ちしております。』

このチラシとコンセプトに心惹かれ見学にいきました。当会が、創りたいと思う折尾の街『**住む人に誇りを！来る人に感動を！歴史遺産を活かした街**』を、店舗にしたような感じで、とても感動しました。

以前、折尾は「遠賀の都」と言われるほど繁栄していました。その歴史が年表形式で、階段の踊り場に紹介してあります。

その横には『**日本近代化の基礎を築いた私達の街**』の言葉があり、折尾のことをこんなにも大切に思っ下さる方がいることを、肌で感じることができました。

折尾の先人の想いや知恵を後世に伝えるのが、私たちの使命であり、今こそこの精神で、折尾の開発をしていかないと折尾の発展はないと思っています。

折尾が、日本近代化の基礎を築き、折尾駅を始め、堀川運河、西鉄電車高架橋などが、近代化産業に貢献した近代化産業遺産であること、更に、それらが日本最古、日本最大級、日本唯一であり、有形文化財級の価値があることを知っている人は殆ど居ないのではないのでしょうか？

レジの上には、『ORIO STATION HISTORY / HERITANCE / STORY』(折尾駅には歴史があり、引き継ぐ遺産があり、物語がある)と書かれています。

歴史を知ること、現在、存在しているものの意味を考え、現状を反省し、将来を創っていく原動力になると思います。

ハローデイの商売の方法は、昭和以前の折尾の商売人のこだわりのようです。その頃、折尾の街への買い物は、ちょっとおしゃれをして出かけていたと聞きます。また店主から、どこよりも新鮮で、スーパーにないようなこだわりの商品で、お客様の要望や対話などを大切にして商売をしていると、**自分の商売に「誇り」**を持って自慢げに話をしてくれたことを思い出しました。

「野菜売り場が駅前市場」、「鮮魚売り場が列車の車内」、「精肉売り場が到着ホーム」、「レジが改札口」、「買物したものを袋に入れる台のところの窓の絵は折尾スタイルの憩いの公園風の景色」、「TUTAYA側の入り口の壁は折尾駅の内装」になっています。

多目的トイレや授乳室まであります。ディスプレイを含め、**細部までこだわり**があります。

一度、ちょっと視点を変えて店内を見渡してください。きっと新しい発見があると思います。

感性豊かな若者が多い大学の前に、折尾の歴史を知らない人が多い新興住宅地に、折尾誇りを伝え、感動する商売をコンセプトとするお店ができたことを、誇りに思います。(蒔田加代)